

## ■ 滋賀支社の社会貢献活動 ■

～琵琶湖に関するエトセトラ～

滋賀支社は、日本で一番大きい湖「琵琶湖」を有する滋賀県に立地しています。琵琶湖は県の面積の6分の1を占め、周囲長241kmですが、その大きさから県外の方には「滋賀の半分は琵琶湖だと思っていた」なんて言われたりもします（笑）。琵琶湖の形にくり抜いて出来たのが淡路島というお話が有るとか無いとか、想像して考えると面白いですね。

琵琶湖一周サイクリング（約200km）も人気があります。サイクリング初心者には、琵琶湖大橋を渡る北湖一周コース（約150km）があります。ゆっくり休憩し、名所に立ち寄り、美味しいものを味わうなど、湖畔の魅力を楽しむために1泊2日以上の日程をおすすめします。

琵琶湖にまつわるお話をもうひとつ

「急がば回れ」ということわざの由来はなんと、琵琶湖だそうです。湖を渡る手段として、現在の草津と大津の間を結ぶ「矢橋の渡し」という渡し舟があったものの、運休が多かったらしいです。「もののふの矢橋の船は速かれど急がば廻れ瀬田の長橋」（急ぎなら瀬田の唐橋まで遠回りするほうが確実）という、室町時代後期の連歌師 柴屋軒宗長の歌が出典です。

滋賀支社では社会貢献活動として、県民に愛されている琵琶湖を守るため「びわ湖クリーンキャンペーン」に参加し、清掃活動を行っています。その他にも、琵琶湖の外来魚駆除と環境保全を目的とした「びわ湖クリーンフィッシング大会」にも参加しています。



滋賀支社長 堂野